

# 2015年12月期 第1四半期決算 参考資料

I サマリー情報	P.1
① 経営成績	P.1
② 財政状態	P.1
II 2015年12月期 第1四半期実績	P.2
① 四半期損益計算書	P.2
② 製商品別売上高	P.4
③ 四半期貸借対照表	P.5
④ 設備投資の状況	P.6
⑤ 非資金項目	P.6
⑥ 研究開発の状況	P.6
III 2015年12月期 業績予想	P.7
① 損益計算書	P.7
② 製商品別売上高	P.9
③ 設備投資の状況	P.10
④ 非資金項目	P.10
⑤ 配当	P.10
【将来に関する記述等についてのご注意】	P.10

※ 本資料は累計期間に係る情報を掲載しており、百万円未満を切捨てして表示しております。

2015年4月28日



鳥居薬品株式会社

# I サマリー情報

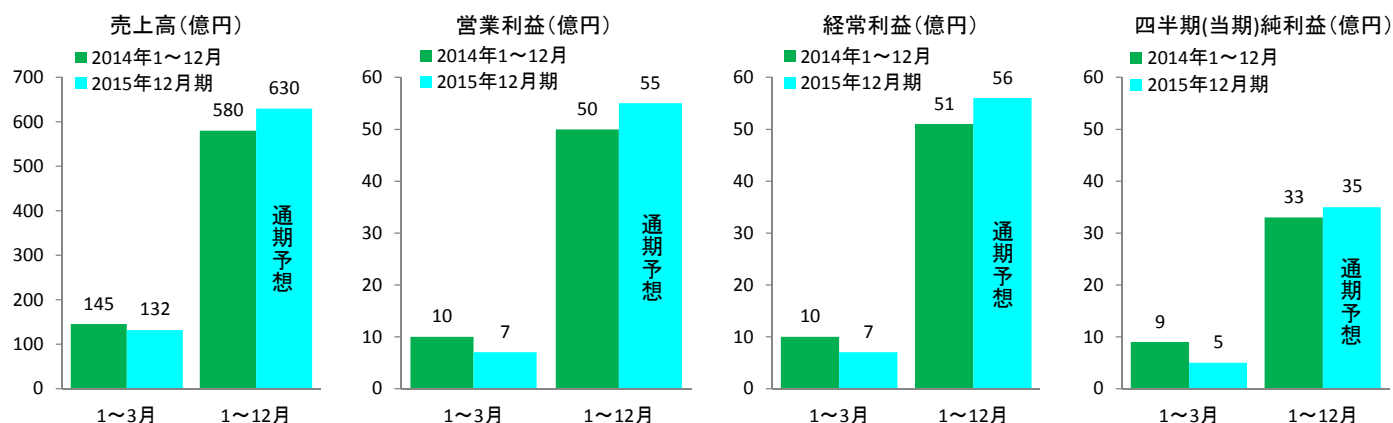
## ① 経営成績

(単位:百万円)	2014年 1~3月 A	2015年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A	2014年 1~12月	2015年12月期 通期予想 C	対予想 進捗率(%) B/C
売上高	14,585	13,298	△1,286	△8.8	58,089	63,000	21.1
営業利益	1,001	745	△256	△25.6	5,033	5,500	13.6
経常利益	1,025	794	△231	△22.5	5,168	5,600	14.2
四半期(当期)純利益	974	532	△441	△45.3	3,394	3,500	15.2

※当社は、2014年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しており、2014年12月期は9ヶ月決算となっております。そのため、当期実績との比較として前年同一期間である2014年1月1日から2014年3月31日までの3ヶ月間の数値（計算方法はP.2を参照）を記載しております。また、2015年12月期通期予想との比較として2014年1月1日から2014年12月31日までの12ヶ月間の数値（計算方法はP.7を参照）を記載しております。

### (参考)

研究開発費	1,478	1,119	△359	△24.3	4,878	4,530	24.7
1株当たり四半期(当期)純利益(EPS) (円)	34.44	18.83	△15.61		119.94	123.68	
自己資本四半期(当期)純利益率(ROE) (%)	1.2	0.7	△0.5		4.3	-	
総資産経常利益率 (%)	1.1	0.9	△0.2		5.6	-	
売上高営業利益率 (%)	6.9	5.6	△1.3		8.7	-	
総資産四半期(当期)純利益率(ROA) (%)	1.1	0.6	△0.5		3.7	-	



## ② 財政状態

(単位:百万円)	2014年12月期 A	2015年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
総資産	92,550	94,119	1,568	1.7
純資産	80,225	80,271	46	0.1
自己資本比率 (%)	86.7	85.3	△1.4	
1株当たり純資産(BPS) (円)	2,834.82	2,836.46	1.64	

## Ⅱ 2015年12月期 第1四半期実績

※当社は、2014年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しておりますので、当期実績の比較として「2014年1～3月数値」（計算方法は以下参照）を記載しております。

### ① 四半期損益計算書

(単位:百万円)	2014年	2015年12月期	増減額	増減率 (%)
	1～3月	第1四半期		
	A	B	B-A	(B-A)/A
売上高	14,585	13,298	△1,286	△8.8
製商品売上高	14,529	13,241	△1,288	△8.9
腎・透析領域	6,130	5,717	△412	△6.7
皮膚・アレルギー領域	2,851	2,543	△307	△10.8
HIV領域	4,106	3,612	△493	△12.0
その他	1,442	1,366	△76	△5.3
不動産賃貸収入	55	57	1	3.1
売上原価	6,809	6,398	△410	△6.0
製商品売上原価	6,795	6,386	△408	△6.0
不動産賃貸原価	14	11	△2	△15.4
売上総利益	7,775	6,899	△876	△11.3
販売費及び一般管理費	6,774	6,154	△620	△9.2
販管費（研究開発費除く）	5,296	5,035	△260	△4.9
研究開発費	1,478	1,119	△359	△24.3
営業利益	1,001	745	△256	△25.6
営業外収益	26	51	24	—
営業外費用	2	2	△0	—
経常利益	1,025	794	△231	△22.5
特別利益	15	—	△15	—
特別損失	3	0	△2	—
税引前四半期純利益	1,038	793	△244	△23.6
法人税等	63	260	197	—
四半期純利益	974	532	△441	△45.3

(参考) 売上高に対する比率

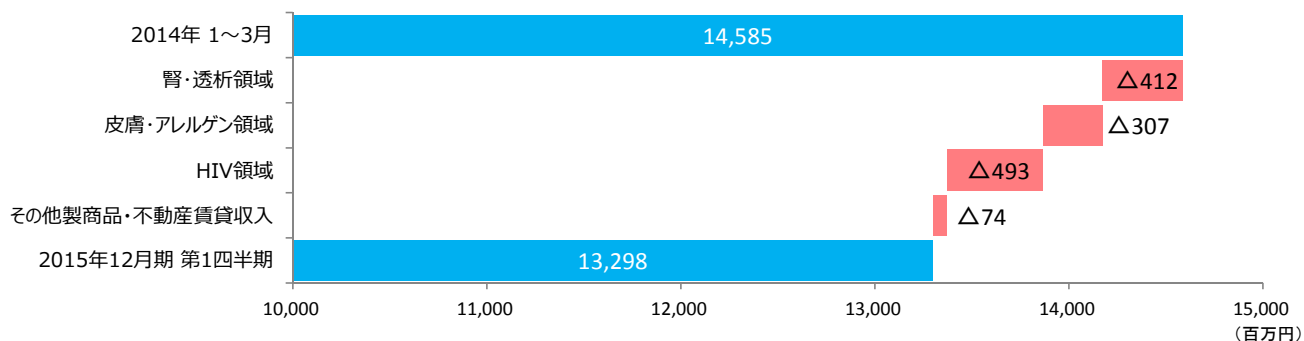
(単位:%)	2014年	2015年12月期	増減
	1～3月	第1四半期	
	A	B	B-A
売上原価	46.7	48.1	1.4
販売費及び一般管理費	46.4	46.3	△0.1
研究開発費	10.1	8.4	△1.7
営業利益	6.9	5.6	△1.3
経常利益	7.0	6.0	△1.0
四半期純利益	6.7	4.0	△2.7

<2014年1～3月数値の計算方法>

2014年3月期第4四半期実績（12ヶ月）－2014年3月期第3四半期実績（9ヶ月）

【対前年同一期間増減要因】

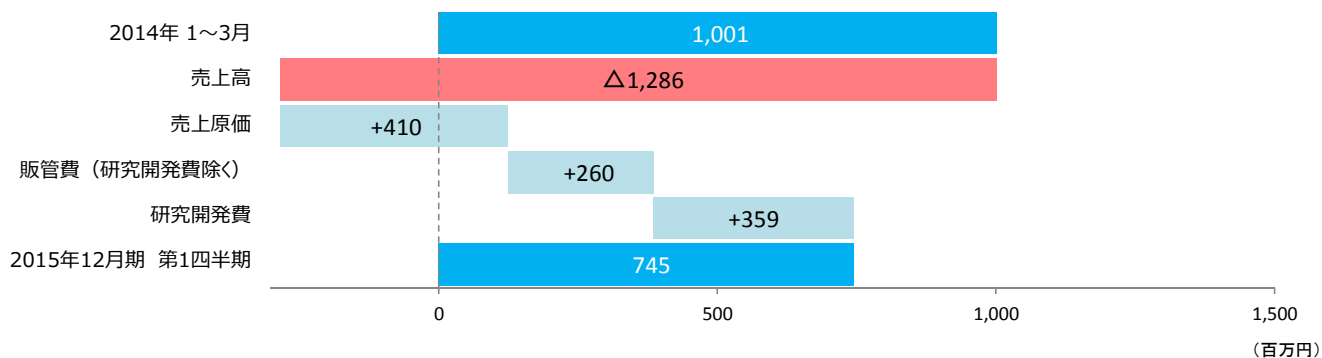
売上高（13,298百万円 対前年同一期間  $\Delta$ 1,286百万円）



主な増減要因

腎・透析領域	：リオナ錠	+936百万円	、	レミッチカプセル	$\Delta$ 1,148百万円
	：注射用フサン	$\Delta$ 104百万円			
皮膚・アレルギー領域	：ドボネックス軟膏	$\Delta$ 177百万円			
HIV領域	：ツルバダ配合錠	$\Delta$ 562百万円			
※詳細はP.4「② 製商品別売上高」を参照					

営業利益（745百万円 対前年同一期間  $\Delta$ 256百万円）



主な増減要因

売上原価	：売上高の減少（前年同一期間における消費税増税前の一時的な需要増、前年4月の薬価改定影響）
販管費（研究開発費除く）	：販売促進費の減少
研究開発費	：臨床試験費用の減少

経常利益（794百万円 対前年同一期間  $\Delta$ 231百万円）

特記事項：特になし

四半期純利益（532百万円 対前年同一期間  $\Delta$ 441百万円）

特記事項：特になし

## ② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2014年 1~3月 A	2015年12月期 第1四半期 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	14,529	13,241	△1,288	△8.9
レミッチカプセル	4,407	3,258	△1,148	△26.1
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	3,487	2,925	△562	△16.1
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
アンテベート ※1	1,606	1,514	△92	△5.7
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
リオナ錠 ※2	—	936	936	—
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
注射用フサン ※1	731	627	△104	△14.3
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
スタビルド配合錠	523	622	99	18.9
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
ビオスリー	503	518	14	2.9
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ケイキサレート ※1	515	513	△1	△0.3
高カリウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
グリノーム錠 ※1	475	381	△93	△19.7
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
ロコイド ※1	326	331	5	1.7
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
トボネックス軟膏	480	302	△177	△37.0
尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域]				
ゼフナート	304	220	△84	△27.7
抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域]				
マグセント	230	218	△12	△5.2
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
その他製商品 ※3	934	868	△66	△7.1

※1 自社品

※2 「リオナ錠」は、2014年5月から販売しております。

※3 2014年10月から販売しております「シダトレン スギ花粉舌下液」は、72百万円の売上となりました。

### (参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2014年 1~3月 A	2015年12月期 第1四半期 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	4,134	3,871	△263	△6.4
自社品比率 (%)	28.5	29.2	0.7	—

③ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)	2014年12月期	2015年12月期	増減額	増減率 (%)	構成比 (%)
	A	第1四半期 B			
流動資産	72,121	73,778	1,656	2.3	78.4
現金及び預金	6,316	4,499	△1,816		
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	14,978	12,832	△2,145		
受取手形及び売掛金	25,901	24,397	△1,504		
有価証券	13,209	18,105	4,896		
たな卸資産	10,136	12,061	1,924		
その他	1,579	1,881	302		
固定資産	20,428	20,340	△87	△0.4	21.6
有形固定資産	5,806	5,798	△7		
無形固定資産	818	882	63		
投資その他の資産	13,803	13,659	△144		
投資有価証券	7,070	7,158	88		
長期前払費用	5,230	5,006	△224		
その他	1,502	1,494	△7		
資産合計	92,550	94,119	1,568	1.7	100.0
流動負債	11,391	13,013	1,622	14.2	13.8
買掛金	6,095	7,601	1,505		
未払金	1,795	2,402	606		
未払法人税等	273	294	21		
賞与引当金	694	1,324	630		
その他	2,534	1,391	△1,142		
固定負債	933	833	△99	△10.6	0.9
負債合計	12,324	13,847	1,522	12.4	14.7
株主資本	79,847	79,814	△33	△0.0	84.8
評価・換算差額等	377	457	79	21.0	0.5
純資産合計	80,225	80,271	46	0.1	85.3
負債純資産合計	92,550	94,119	1,568	1.7	100.0

主な増減要因

(流動資産)

- 受取手形及び売掛金 : 売上高の減少による減少
- 有価証券 : 金銭信託の取得による増加、償還による減少
- たな卸資産 : 商品及び製品の増加

(流動負債)

- 買掛金 : 商品仕入の増加による増加

#### ④ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2014年	2015年12月期	増減額	増減率 (%)
	1~3月 A	第1四半期 B		
設備投資額	211	426	214	101.6
有形固定資産	130	297	166	128.1
無形固定資産	81	128	47	58.9

#### 当期の設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力向上を目的とする製造設備への投資  
無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

#### ⑤ 非資金項目

(単位:百万円)	2014年	2015年12月期	増減額	増減率 (%)
	1~3月 A	第1四半期 B		
減価償却費	293	339	46	15.7
長期前払費用償却費	217	229	12	5.6

#### ⑥ 研究開発の状況

開発番号	予定適応症等	剤形等	開発段階 (国内)					備考
			Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認	
<b>皮膚・アレルギー領域</b>								
TO-203	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性鼻炎) (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	舌下錠				申請	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結</li> <li>・自社開発</li> <li>・2015年1月26日に製造販売承認申請</li> </ul>	
	室内塵ダニアレルギー疾患 (アレルギー性喘息) (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	舌下錠			Phase II / III		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALK社と日本における独占的開発・販売権に関するライセンス契約を締結</li> <li>・自社開発</li> </ul>	
TO-206	スギ花粉症 (減感作療法 (アレルギー免疫療法) 薬)	舌下錠			Phase II / III		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社開発</li> </ul>	
JTE-350	アレルギー皮膚テスト実施時の陽性コントロール (ヒスタミン二塩酸塩製剤)	注射剤				申請	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALK社と日本における独占的開発・商業化権に関するライセンス契約を締結</li> <li>・日本たばこ産業(株)との共同開発</li> <li>・日本たばこ産業(株)が2014年12月22日に製造販売承認申請</li> </ul>	

※ 厚生労働省主催の「医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議」における開発企業募集品であります。

前回公表時（2015年2月4日）からの変更点

- ・TO-204（治療用ダニアレルギーエキス皮下注「トリイ」）は本年4月に販売を開始（前回公表時：開発段階「承認」）
- ・TO-205（スクラッチダニアレルギーエキス「トリイ」）は本年4月に販売を開始（前回公表時：開発段階「承認」）

### Ⅲ 2015年12月期 業績予想

※2015年12月期 業績予想については、2015年2月4日「2014年12月期決算 参考資料」で発表しております  
 予想数値から変更はありません。

※当社は、2014年12月期から、決算期を毎年3月31日から毎年12月31日に変更しておりますので、2015年  
 12月期 業績予想の比較として「2014年1～12月数値」（計算方法は以下参照）を記載しております。

#### ① 損益計算書

(単位:百万円)	2014年 1～12月 A	2015年12月期 通期予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
売上高	58,089	63,000	4,910	8.5
製商品売上高	57,864	62,830	4,965	8.6
腎・透析領域	24,437	27,330	2,892	11.8
皮膚・アレルギー領域	11,687	13,890	2,202	18.8
HIV領域	15,527	15,540	12	0.1
その他	6,210	6,070	△140	△2.3
不動産賃貸収入	225	170	△55	△24.7
売上原価	27,396	30,700	3,303	12.1
売上総利益	30,693	32,300	1,606	5.2
販売費及び一般管理費	25,659	26,800	1,140	4.4
販管費(研究開発費除く)	20,780	22,270	1,489	7.2
研究開発費	4,878	4,530	△348	△7.1
営業利益	5,033	5,500	466	9.3
経常利益	5,168	5,600	431	8.3
当期純利益	3,394	3,500	105	3.1

※2015年12月期 通期予想における売上高、営業利益、当期純利益は、中期経営計画(2013年4月25日公表)  
 で掲げた2015年度の経営目標から変更ありません。

(参考) 売上高に対する比率

(単位:%)	2014年 1～12月 A	2015年12月期 通期予想 B	増減 B-A
売上原価	47.2	48.7	1.5
販売費及び一般管理費	44.1	42.6	△1.5
研究開発費	8.4	7.2	△1.2
営業利益	8.7	8.7	0.0
経常利益	8.9	8.9	0.0
当期純利益	5.8	5.6	△0.2

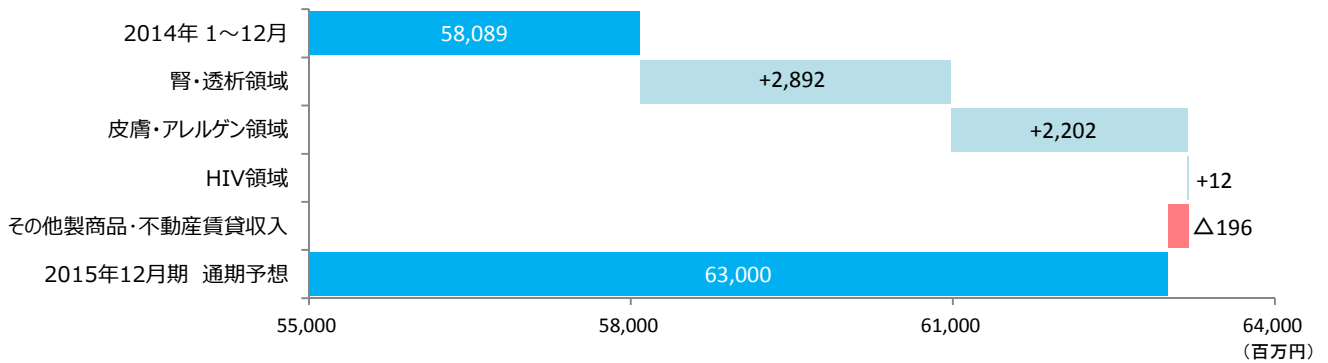
#### <2014年1～12月数値の計算方法>

2014年1～3月（2014年3月期第4四半期実績（12ヶ月）－2014年3月期第3四半期実績（9ヶ月））  
 + 2014年4～12月（2014年12月期実績）



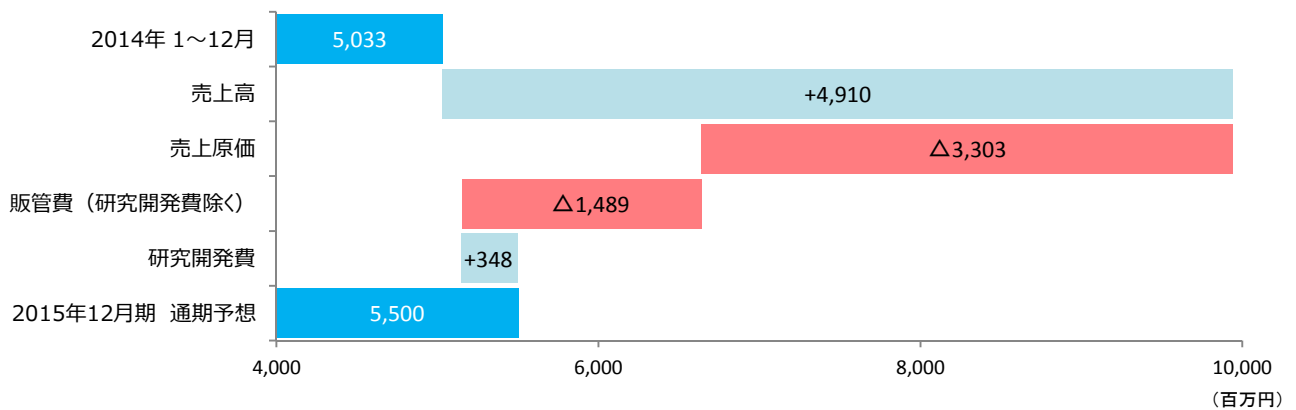
【対前年同一期間増減要因】

売上高（63,000百万円 対前年同一期間 +4,910百万円）



主な増減要因			
腎・透析領域	： リオナ錠	+2,808百万円	、 レミッチカプセル +439百万円
	ケイキサレート	+236百万円	、 注射用フサン △299百万円
	ユリノーム錠	△291百万円	
皮膚・アレルギー領域	： シダトレン スギ花粉舌下液	+2,739百万円	、 アンテベート △287百万円
HIV領域	： スタビルド配合錠	+543百万円	、 ツルバダ配合錠 △437百万円
※詳細はP.9「② 製商品別売上高」を参照			

営業利益（5,500百万円 対前年同一期間 +466百万円）



主な増減要因	
売上原価	： 販売品目の構成変化、売上高の増加
販管費（研究開発費除く）	： 給料及び手当の増加、販売促進費の増加
研究開発費	： 臨床試験費用の減少

経常利益（5,600百万円 対前年同一期間 +431百万円）

特記事項：特になし

当期純利益（3,500百万円 対前年同一期間 +105百万円）

特記事項：特になし

## ② 製商品別売上高

(単位:百万円)	2014年 1~12月 A	2015年12月期 通期予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
製商品売上高	57,864	62,830	4,965	8.6
レミッチカプセル	14,970	15,410	439	2.9
経口そう痒症改善剤 [腎・透析領域]				
ツルバダ配合錠	12,717	12,280	△437	△3.4
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
アンテベート ※1	6,747	6,460	△287	△4.3
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
リオナ錠 ※2	1,811	4,620	2,808	155.0
高リン血症治療剤 [腎・透析領域]				
注射用フサン ※1	3,499	3,200	△299	△8.6
蛋白分解酵素阻害剤 [腎・透析領域]				
スタビルド配合錠	2,466	3,010	543	22.1
抗ウイルス化学療法剤(抗HIV薬) [HIV領域]				
シダトレン スギ花粉舌下液 ※1、3	80	2,820	2,739	-
スギ花粉症の減感作療法(アレルギー免疫療法)薬 [皮膚・アレルギー領域]				
ケイキサレート ※1	2,253	2,490	236	10.5
高カルウム血症改善剤 [腎・透析領域]				
ビオスリー	2,123	2,200	76	3.6
活性生菌製剤(整腸剤) [その他]				
ユリノーム錠 ※1	1,901	1,610	△291	△15.3
尿酸排泄薬(高尿酸血症治療剤) [腎・透析領域]				
ドボネックス軟膏	1,670	1,520	△150	△9.0
尋常性乾癬治療剤 [皮膚・アレルギー領域]				
ロコイド ※1	1,337	1,330	△7	△0.5
外用副腎皮質ホルモン剤 [皮膚・アレルギー領域]				
ゼフナート	1,450	1,320	△130	△9.0
抗真菌薬 [皮膚・アレルギー領域]				
マグセント	1,192	1,260	67	5.7
切迫早産における子宮収縮抑制剤 子癇の発症抑制・治療剤 [その他]				
その他製商品	3,641	3,300	△341	△9.4

※1 自社品

※2 「リオナ錠」は、2014年5月から販売しております。

※3 「シダトレン スギ花粉舌下液」は、2014年10月から販売しております。

(参考) 自社品売上高及び自社品比率

(単位:百万円)	2014年 1~12月 A	2015年12月期 通期予想 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
自社品売上高	17,657	19,840	2,182	12.4
自社品比率 (%)	30.5	31.6	1.1	-

### ③ 設備投資の状況

(単位:百万円)	2014年 1~12月 A	2015年12月期 通期予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
設備投資額	1,726	2,277	550	31.9
有形固定資産	1,286	2,052	765	59.5
無形固定資産	440	225	△215	△48.9

#### 設備投資の内容

有形固定資産：主に生産能力向上を目的とする製造設備への投資  
 無形固定資産：業務の効率化等を目的とするソフトウェアへの投資

### ④ 非資金項目

(単位:百万円)	2014年 1月~12月 A	2015年12月期 通期予想 B	増減額 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
減価償却費	1,218	1,382	163	13.5
長期前払費用償却費	918	812	△106	△11.6

### ⑤ 配当

	2014年12月期 通期(4~12月) A	2015年12月期 通期予想 B	増減 B-A	増減率 (%) (B-A)/A
1株当たり配当金 (円)	40	48	8	20.0
配当性向 (%)	46.8	38.8	-	-

#### 【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載しております業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。したがって、実際の業績等は、様々な要素により、これらの業績見通し等とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見通しを見直すとは限りません。なお、現時点において、実際の業績等に影響を与えるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 医薬品医療機器法その他の法令または規制の変化
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 製商品の供給停止、回収
- ◇ 薬価の決定、改定
- ◇ 訴訟の提起